

日本史探求 定期試験予想問題

【問題用紙】

範囲:p41 遣唐使～p74 地方の反乱と武士の成長

難易度:★★☆☆☆

1 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

8世紀に入ると、日本からの遣唐使はほぼ20年に1度の割合で派遣された。唐からは高級織物や銀器・楽器などを賜与されたほか、a 留学生や学問僧が儒教や仏教、法律など多くの書物と知識を伝えた。また b 中国東北部などに住む民族は、727年に日本に使節を派遣して国交を求め、日本と友好的に通交した。

元明天皇は c 平城京へと遷都し、奈良時代が始まった。武蔵国から銅が献上されると、d 新たな貨幣を鑄造して流通をめざした。一方で律令国家は東北地方や e 九州南部の人々を異民族として服従させ、支配地を拡大していった。

8世紀の初めは、皇族や中央の有力貴族間で勢力が比較的均衡に保たれていた。しかし、藤原氏が進出により、状況は変化していった。(1)は、娘の宮子を文武天皇に嫁がせ、その子の皇太子にも娘の光明子を嫁がせて天皇家と密接な関係を築いた。(1)が死去すると、皇族の(2)が政権を握ったが、(1)の子の武智麻呂・房前・宇合・麻呂の4兄弟の策謀によって自殺させられた。737年に流行した天然痘によって4兄弟はあいついで病死し、かわって皇族出身の(3)が政権を握った。当時の政治情勢や社会的不安のもと、仏教を厚く信仰した f 聖武天皇は、鎮護国家の思想によって国家の安定をはかろうとした。聖武天皇の娘である孝謙天皇の時代には、(4)が光明皇太后と結んで政界で勢力をのび、恵美押勝の名を賜って権力を独占した。光明皇太后の死後、孝謙太上天皇は僧(5)を寵愛して淳仁天皇と対立し、押勝は滅ぼされた。称徳天皇が亡くなり(5)が退くと、(6)が光仁天皇を立てて国家財政の再建を目指した。そのような状況下で政府は、人口増加による口分田の不足をおぎない g 税の増収をはかるため、様々な政策を行なった。

問1 文中の空欄(1)～(6)に当てはまる語句を次の語群から1つずつ選び、記号で答えなさい。

語群:ア.藤原仲麻呂 イ.橘諸兄 ウ.藤原不比等 エ.長屋王 オ.藤原百川 カ.道鏡

問2 下線部aについて、8世紀に唐に渡った留学生として当てはまる記号を2つ答えなさい。

ア 南淵請安 イ 吉備真備 ウ 玄昉 エ 旻

問3 下線部bに関して、8～10世紀、中国東北部などに住む靺鞨族や旧高句麗を中心に建国された国家として当てはまる記号を答えなさい。

ア 渤海 イ 契丹 ウ 高麗 エ 金

問4 下線部cについて、平城京について述べた文X、Yの正誤の組み合わせとして正しいものを選択肢の中から選んで答えなさい。

X 平城京は唐の都上海にならい、碁盤の目状に東西・南北に走る道路で区画される条里制をもつ都市であった。

Y 西の左京・東の右京には官營の市が設けられ、太政官が監督した。

ア. X-正 Y-正 イ. X-正 Y-誤 ウ. X-誤 Y-正 エ. X-誤 Y-誤

問5 下線部dについて、708年、新たに鑄造された貨幣を漢字4字で答えなさい。

問6 下線部 e について、8 世紀前半、南九州に住み中央政府に反抗した人々を漢字 2 字で答えなさい。

問7 下線部 f について、聖武天皇による遷都の順番として正しい記号を答えなさい。

ア 難波宮→紫香樂宮→恭仁京 イ 難波宮→恭仁京→紫香樂宮 ウ 紫香樂宮→難波宮→恭仁京
エ 紫香樂宮→恭仁京→難波宮 オ 恭仁京→難波宮→紫香樂宮 オ 恭仁京→紫香樂宮→難波宮

問8 下線部 g に関して、以下の史料を読み、問いに答えなさい。

詔して曰く、『聞くが如くんば、墾田は h 養老七年の格に依りて、限満つるの後、例に依りて収授す。是に由りて農夫怠倦して、開ける地復た荒れると。今自り以後は、任に私財と為し、三世一身を論ずること無く、咸悉永年取る莫れ。

(1) 史料の下線部 h は、723 年に施行された規定を指している。漢字 5 字で答えなさい。

(2) この史料の規定を施行した人物を選択肢の中から選んで答えなさい。

ア 聖武天皇 イ 孝謙天皇 ウ 淳仁天皇 エ 光仁天皇

(3) この史料の規定の名称を漢字 7 字で答えなさい。

2 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

a 桓武天皇は、794 年に b 平安京に遷都した。また桓武天皇は東北地方への侵攻を進め、支配を拡大した。780 年には蝦夷の豪族(1)が反乱をおこし、一時は多賀城をおとし入れて焼き払うという、大規模な戦いへと発展した。その後、征夷大將軍となった(2)は、802 年に(3)を築いて蝦夷の族長(4)を服属させた。桓武天皇の積極的な政治改革の方針は、平城天皇・嵯峨天皇にも引き継がれた。嵯峨天皇は c 平安京内の警察に当たる組織を設け、さらに法制の整備も進められた。

一方で8世紀後半から9世紀になると、農民は負担を逃れようとし、戸籍には女性などの登録を増やす(5)が目立つようになった。中央の国家財政の維持が困難になると、政府は国司・郡司たちの不正・怠慢の取締りを強化し、d 有力農民を使った直営方式で収益をはかるなど、財源の確保につとめた。

9世紀の半ば以降は、藤原氏の北家が勢力をのびした時期あった。藤原冬嗣の子の(6)は、842 年の承和の変で藤原氏の中での北家の優位を確立し、伴健岑・橘逸勢ら他氏族の勢力を退けた。858 年に(6)は、幼少の外孫であった清和天皇を即位させ、みずからは摂政になって天皇の政務を代行した。あとを継いだ(7)は、光孝天皇を即位させた。(7)の死後、藤原氏を外戚としない宇多天皇は摂政・関白をおかず、e 宮中の警備にあたる組織をおいた。つづく f 醍醐天皇と、その子の g 村上天皇の時代には摂政・関白を置かず親政がおこなわれたが、969 年の(8)で源高明が左遷されると、藤原氏北家の勢力は不動のものとなった。

問1 文中の空欄(1)～(8)に当てはまる語句を次の語群から1つずつ選び、記号で答えなさい。

語群: ア.胆沢城 イ.偽籍 ウ.坂上田村麻呂 エ.藤原良房 オ.藤原基経 カ.安和の変
キ.阿弭流為 ク.伊治皆麻呂

問2 下線部aについて、桓武天皇が設けた郡司の子弟や有力農民の志願による兵士を漢字2字で答えなさい。

問3 下線部 b について、平安京について述べた文 X、Y の正誤の組み合わせとして正しいものを選択肢の中から選んで答えなさい。

X 平安京遷都に伴い、山背国が山城国と改められた。

Y 平安京における右京はのちにさびれ、左京と洛東がにぎわった。

ア. X-正 Y-正 イ. X-正 Y-誤 ウ. X-誤 Y-正 エ. X-誤 Y-誤

問4 下線部 c について、嵯峨天皇が設けた平安京内の警察に当たる組織として正しい記号を答えなさい。

ア 勘解由使 イ 蔵人頭 ウ 検非違使 エ 神祇官

問5 下線部 d について、場所と名称の正しい組み合わせとして正しい記号を 2 つ答えなさい。

ア 大宰府管内—公営田 イ 大宰府管内—官田 ウ 関西—公営田 エ 関西—官田

問6 下線部 e について、宇多天皇が設置した宮中の警備にあたる組織を5字で答えなさい。

問7 下線部 f について、醍醐天皇の時代の出来事として誤っている記号を1つ答えなさい。

ア 延喜の荘園整理令が行われた。 イ 最後の班田が実施された。

ウ 三善清行によって意見十二箇条が提出された。 エ 東北地方に阿倍比羅夫が派遣された。

問8 下線部 g について、村上天皇の時代に鑄造された本朝十二銭の最後となる貨幣を漢字四字で答えなさい。

3 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

10 世紀の初めは、律令体制の行き詰まりがはっきりしてきた時代であった。政府は任国に赴任する国司の最上席者である受領に大きな権限と責任を負わせると、田堵に田地の耕作を請け負わせ、税として官物と臨時雑役を課すようになった。課税の対象となる田地は、(1)という徴税単位にわけられた。受領以外の国司が赴任せずに、国司としての収入のみを受け取る(2)も盛んになった。受領たちの中には、a 郡司や百姓によって訴えられた強欲な者もいた。この頃には私財を出して朝廷儀式の運営や寺社の造営などを請け負い、その代償として官職に任じてもらう(3)や、同様にして収入の多い官職に再任してもらう(4)がおこなわれるようになった。やがて受領も任国におもむかなくなり、かわりに(5)を留守所に派遣した。

10 世紀後半には、任地に土着した国司の子孫たちや地方豪族の中に、国衙から臨時雑役などを免除されて一定の領域を開発する者が現れた。受領の中には国衙からの干渉を免れるために、土地を貴族や大寺社に寄進し、みずからは荘官となる者も現れた。こうしてできた荘園を b 寄進地系荘園と呼ぶ。やがて、荘園内での開発が進展するにともない、不輸の範囲や対象をめぐる荘園側と国衙との対立が激しくなると、荘園領主の権威を利用して、c 検田使など国衙の使者の立入りを認めない特権を得る荘園も多くなっていった。

一方で9世紀末から10世紀にかけては、土着した国司の子孫や地方豪族が武装するようになった。その鎮圧のために中央から派遣された中・下級貴族の中で有力な d 武士となる者が現れ、e 藤原純友などが反乱をおこした。

問1 文中の空欄(1)～(5)に当てはまる語句を次の語群から一つずつ選び、記号で答えなさい。

語群:ア.重任 イ.成功 ウ.目代 エ.遙任 オ.名

問2 下線部 a に関して、次の史料を読み、以下の問いに答えなさい。

(A)国郡司百姓等解し申し請ふ官裁の事

裁断せられむことを請ふ当国の守藤原朝臣元命、三箇年の内に責め取る非法の官物并せて濫行横法三十一箇条一 ……例挙の外に三箇年の収納、暗に以て加徴せる正税四十三万二千二百四十八束が息利の十二万九千三百七十四束四把一分の事。

永延二年十一月八日 郡司百姓等

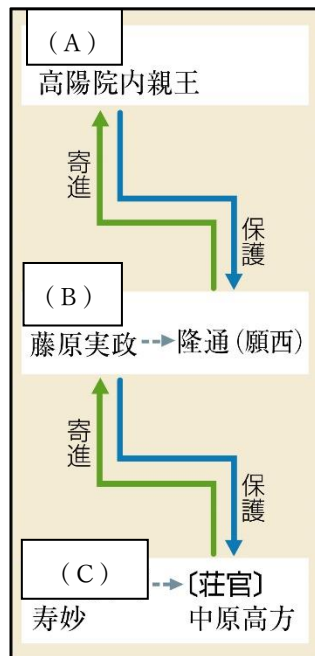
(1) 史料によって訴えられた国司を漢字 4 字で答えなさい。

(2) (A)に入る国名として正しい記号を答えなさい。

ア 下野 イ 尾張 ウ 越後 エ 土佐

問3 下線部 b について、寄進地系荘園を示す右の図の(A)～(C)に入る語句として正しい記号を次の語群からそれぞれ選びなさい。

語群:ア.領家 イ.開発領主 ウ.本家



問4 下線部 c のような特権を漢字 2 字で答えなさい。

問5 下線部 d に関連する以下の問いに答えなさい。

(1) 10 世紀初頭に常陸・下野・上野の国府を攻め落とし、東国の大半を占領して新皇を自称した人物を漢字三字で答えなさい。

(2) 武士について述べた文 X、Y の正誤の組み合わせとして正しいものを選択肢の中から選んで答えなさい。

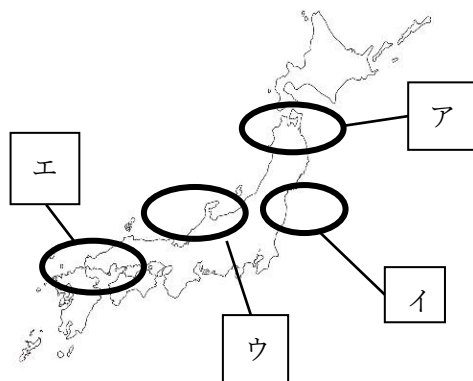
X 刀伊の来襲の際には、藤原隆家の指揮のもとで武士たちが撃退した。

Y 平忠常の乱は、源頼信によって鎮圧された。

ア. X-正 Y-正 イ. X-正 Y-誤 ウ. X-誤 Y-正 エ. X-誤 Y-誤

問6 下線部 e に関連する以下の問いに答えなさい。

(1) 藤原純友が反乱を起こした地域として正しい記号を右の地図から 1 つ選び、答えなさい。



(2) 藤原純友の乱を平定した人物として正しい記号を答えなさい。

ア 藤原頼通 イ 平貞盛 ウ 源経基 エ 藤原道長

4 文化に関する以下の問いに答えなさい。

問1 以下の文と画像(1)・(2)がそれぞれ示す仏像・建築物をそれぞれ漢字5字で答えなさい。

(1) 685年に、天皇が亡き蘇我倉山田石川麻呂のために造った飛鳥山田寺本尊像の頭部。

(2) 730年頃に建立され、三重塔の各層に裳階とよばれる小さな屋根の付いた「凍れる音楽」と称される建築物。



問2 国史編纂事業について述べた文X、Yの正誤の組み合わせとして正しいものを選択肢の中から選んで答えなさい。

X 『古事記』は、「帝紀」「旧辞」にもとづいて天武天皇が稗田阿礼によみならわせた内容を、太安万侶が筆録したものである。

Y 『日本書紀』は、刑部親王が中心となって編纂した

ア. X-正 Y-正 イ. X-正 Y-誤 ウ. X-誤 Y-正 エ. X-誤 Y-誤

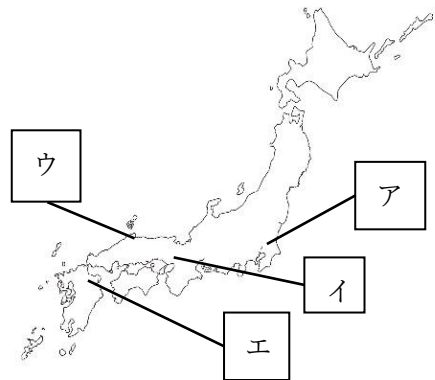
問3 7世紀後半以降の漢詩をまとめた、現存最古の漢詩集として正しい記号を答えなさい。

ア 懐風藻 イ 日本後紀 ウ 凌雲集 エ 日本三代実録

問4 現在まで伝えられている風土記のうちほぼ完全に残っている

国の位置を示したものとして当てはまる記号を

右の地図から1つ選び記号で答えなさい。



問5 『万葉集』におさめられている「貧窮問答歌」の作者として正しい記号で答えなさい。

ア 有間皇子 イ 石上宅嗣 ウ 山上憶良 エ 淡海三船

問 6 戒律に関連する以下の問いに答えなさい。

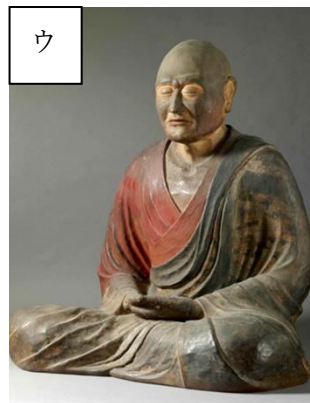
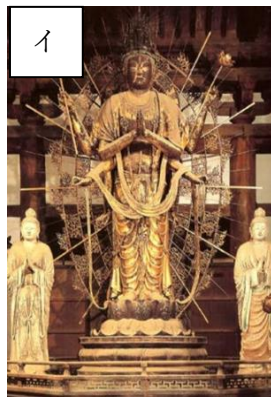
(1) 日本への渡航にたびたび失敗しながら、ついに日本に戒律を伝えた唐の僧を漢字二字で答えなさい。

(2) 受戒の場である戒壇がおかれた寺として誤っている記号を1つ答えなさい。

ア 東大寺 イ 唐招提寺 ウ 筑紫観世音寺 エ 下野薬師寺

問 7 奈良時代頃におこった、仏と神は本来同一であるとする思想を漢字4字で答えなさい。

問 8 興福寺阿修羅像として当てはまる記号を以下の画像から選び、答えなさい。



問 9 天台宗・真言宗に関連する以下の表の空欄(A)～(D)に入る語句として正しい記号を次の語群から選び答えなさい。

	天台宗	真言宗
開祖	(A)	(B)
寺院	(C)	高野山金剛峰寺
著作	顛戒論	(D)

語群:ア.菅家文草 イ.比叡山延暦寺 ウ.最澄 エ.空海 オ.三教指帰 カ.行基 キ.観心寺

問 10 藤原氏の大学別曹として当てはまる記号を答えなさい。

ア 奨学院 イ 弘文院 ウ 勸学院 エ 学館院

問 11 以下の画像が示す寺院を漢字 3 字で答えなさい。



問 12 唐風の書の名手である三筆と称された人物として誤っている記号を 1 つ答えなさい。

ア 橘逸勢 イ 嵯峨天皇 ウ 空海 エ 藤原佐理

問 13 「春はあけぼの」など鋭い感覚によって書かれた、清少納言の随筆作品として正しい記号を答えなさい。

ア 源氏物語 イ 竹取物語 ウ 伊勢物語 エ 枕草子

問 14 以下の画像が示す寺として正しい記号を答えなさい。



ア 平等院鳳凰堂 イ 園城寺 ウ 教王護国寺 エ 法成寺

問 15 貴族の生活について述べた文 X、Y の正誤の組み合わせとして正しいものを選択肢の中から選んで答えなさい。

X 貴族男性の正装は束帯や衣冠であり、女性の正装は女房装束であった。

Y 10～15 歳くらいで男性は裳着の式、女性は元服を行い、成人として扱われた。

ア. X-正 Y-正 イ. X-正 Y-誤 ウ. X-誤 Y-正 エ. X-誤 Y-誤

5 以下の問いに答えなさい。

問1 「浮浪」と「逃亡」という語句の意味を2つの違いを明らかにしつつ、それぞれ記述しなさい。

問2 平安時代以降、仏像制作において一木造に代わって寄木造が取り入れられた理由を「末法思想」という語句を用いて記述しなさい。

問3 9世紀末、遣唐使の派遣が中止になった理由を、派遣の中止を訴えた人物とともに記述しなさい。

問4 藤原氏の栄華について述べた文として当てはまる記号を、以下の史料を参考に1つ答えなさい。また、間違っていると判断した他の文について、どこが間違っているか記述しなさい。

寛仁二年十月十六日乙巳、今日、女御藤原威子を以て皇后に立つるの日なり。……太閤下官を招き呼びて云く、「和歌を読まむと欲す。必ず和すべし。」者。答へて云く、「何ぞ和し奉らざらむや。」又云ふ、「誇りたる歌になむ有る。但し宿構に非ず。」者。「此の世をば我が世とぞ思ふ望月の かけたることも無しと思へば」。余申して云く、「御歌優美なり。酬答に方無し。満座只この御歌を誦すべし。……」と。

ア 史料では、藤原道長の娘、威子が天皇の皇后になる日のことが記載されている。

イ 藤原実資は歌の中で、自分自身の満ち足りた状況を満月に例えた。

ウ この史料は『御堂関白記』という日記である。